

光あれ。

2019年を迎えました。
闇が次第に赤く染まり、地平線の彼方から光がのぼる。
初日の出に厳かな思いを抱かれた方も多いでしょう。

聖書によると、一番最初に神さまがお造りになったのは、光です。
「神は言われた。「光あれ。」こうして光があった」(創世記1:3)

それまでは闇と混沌が支配していました。
神が光をお造りになり、世界の物語が始まりました。
私たち一人ひとりの人生においても混沌や闇の時期があります。
もがけばもがくほど苦しみが増し、身動きもできない闇が。
しかし、その闇の中に神はかならず光を灯してくださる。

「王様、命令出した」と、迫力ある歌がページントにあります。
皇帝アウグストゥスが全領土に住民登録の勅令を出したとき
人間の力や欲望が猛威を振るう闇が、全世界を覆っていました。
そのただ中にお生まれになったのが、主イエスでした。
ひっそりと世界の片隅、馬小屋の中
人々に気づかれぬほど、小さな、小さな光として。それでも
「光は暗闇の中で輝いている」(ヨハネ福音書1:5)

日本の街々のクリスマスは12月25日で終わってしまいますが
ヨーロッパのクリスマスは、実は、1月6日まで続きます。
イエスさまの光を心から祝いながら、新しい年を迎えるのです。
子どもたちと一緒に祝いした、あのクリスマスの光と喜びを
私たちも今いちど胸に抱きつつ、新しいこの年を歩みだしましょう。
(つくし保育園園長 つだかずお)

<新年礼拝のご案内>

新しい一年をつくし保育園お庭のチャペルで一緒に迎えましょう！
1月6日(日)午前10:30 だいで教会
はじめての方も心より歓迎します。